

わたしたちの町

人口(男) 4,651人 (女) 4,992人 計 9,643人 2月中の転入 21人 転出 13人 世帯数 2,306世帯

(2月末日住民登録調べ)

広報

あいかわ

昭和57年3月20日 第286号 秋田県合川町 編集 総務課 電話 018678-2111

広報は、毎月15日に発行を予定しています。中学校教育会の委託により、各家庭に配布されますので、届かない場合は役場総務課にお知らせください。広報へのニュースの提供や意見等もおまちしています。



ドラエモンをすべっっちゃった 6000人近い人出でにぎわう

ドラエモン・あられちゃん、鎌沢の大仏……。デッカイ雪像と遊ぶ子供たちは、雪まみれになって歓声をあげます。二月二十七・八日。大野台ハイランドで開かれた第一回雪まつりは、五千人の観客を集めてにぎわいました。郷土芸能、わらわら芸、竹細工、ゲームの指導、など多彩な催しものに、みんな大喜び。ぬいぐるみの動物たちも応援にかけつけてチビツ子たちの人気を集めていました。夕やみとともに、百個のかまくらに点灯。マトビも灯されて美しい童話の世界をつくり出しました。二十八日は第三回県民歩くスキーの集い。三歳児から七十代まで七百人が参加して、それぞれのペースで汗を流しました。(写真：雪のお城の前でじゃんけん遊び)

大野台雪まつり

ハイランドで

町民体育館を建築

診療所

昭和五十七年度予算など可決

町三月定例議会は三月八日から開会。五十七年度予算など、二十六議案が可決されました。五十七年度予算は、一般会計で二十六億九千八百九十九万四千円。昨年度予算に比べて四・二%の伸び率で、六月一日オープン予定の農村環境改善センターや町民体育館、診療所の新築工事費などがふくまれています。(町長の施政方針二・三画)

3月定例議会

環境改善センターは六月から使用

可決された主な議案

- 合川町立保健センター設置条例
○合川町国民健康保険診療所設置条例
○合川町立農村環境改善センター設置条例
○合川町山村林業構造改善事業休養休けい施設設置条例
○合川町山村林業構造改善事業休養休けい施設の着工、完成を控え、設置運営に必要な条例を定めました。保健センターは四月一日、農村環境改善センター及び休養休けい施設(ハイランド)は六月一日のオープンを予定。合川町国民健康保険診療所は町立合川診療所の名称を変更し、保健センターに接して十二月一日オープンの予定です。
○公民館設置条例の改正・長期利用について
農村環境改善センターの新築に伴う改正で、今の公民館の一部に合川町商工会、北秋田農業共済組合が入ることになりました。
○合川町立社会福祉通観察設置条例の廃止

移動町民室に参加ください

町では各部落の協力によって、移動町民室を開きます。移動町民室では町長はじめ各課長が出席し、直接、みなさんの声をうかがいます。働き盛りのみなさんはもちろん、婦人、青年、お年寄りの皆さんも参加して、幅広く意見をお聞かせください。

花まつり

花祭りというのは、本来は、灌仏(かんぶつ)と呼ぶ、釈迦の誕生日を祝う仏教の行事のひとつです。ところが最近、観光行事としてのサクラの花祭りが各地で盛んになってきて、混同されているむきもあるようです。
仏教の方の花祭りは釈迦の誕生日である四月八日。サクラの花などを飾った小さなお堂を作り、その中に甘茶を入れた水盤をおいて釈迦像を安置し、参拝者はひしゃくで仏像に甘茶をかけるというのが多いようです。
甘茶は、アマチャという植物の葉を干して作ったもの(またはアマチャザルという植物も使う)で、参拝者は、これを飲むほか、習字の墨をするのに水の代わりに使います。こうすると習字が上達するといわれているからです。
一方、お花見の花祭りの方は四月八日とは限らず、サクラの咲くのに合わせるので、地方によってまちまちです。
ちなみに沖繩では一月下旬、北海道の根室では六月月上旬に桜の季節をむかえます。数年前には、「大野台の桜並木」が、全国の桜こよみに載ることでしょう。
その日が楽しみます。

町長日記から

子供は一年も会わないと驚くほどに成長する。卒園、卒業の季節になると、その成長ぶりを両親に言葉がけをする機会が多い。
わが町にある県立宮城大学校の卒業式に参列して驚いたのは、二年前、全県各地の高校を卒業したばかりの新生が、役場で住民登録をすまし、会議室で町のことを私から聴く会があるが、この人たちがはたして厳しい実
習に耐えられるか心配だが、たが、なんとその志(こころざし)を持つたまなざし。いちぶの無駄(むだ)もない堂々たる体躯にたくましく成長していた。残念ながら、わが町からは今年も一人も入学しない。宮城大学校へ入ることが、東京の大学へ行くよりもむしろ将来のためになると思う人がたかくなっているのに、と思えてならない。(義)

毎日が防火デーです ぼくの家の

とびだすな心のブレーキぐつとふみ

春の全国交通安全運動四月六日～十五日 事故と火災のない 明るい町をつくりましょう。



島 山 町 長

町民福祉の向上を重点に 町・県の事業を積極的に導入

三月八日の町議会定例会の初めに町長は五十七年度の施政方針を中心に行政報告を行いました。

「今後の社会経済情勢にも対応しうるよう配慮し町民福祉の向上を重点的に」と基本的な考え方を述べ、各施設の新築を盛り込んだ積極的な予算内容を説明しました。

昭和五十七年度予算案を中心とした三月定例会の開会に当り町政の運営について、所信の一端を申し上げます。

今定例会に提出した議案は全部で二十六件でございますが、条例関係十件、規約の変更二件、単行議案五件、予算議案九件、国の昭和五十七年度予算及び財政投融資計画は今日、最も緊急かつ重要な政策課題として、国民経済の着実な発展と国民生活の安定向上を図るため、内外の社会情勢の推移に即応しつつ内需中心の景気の維持拡大に配慮するとともに、昨年以来の行政改革の基本路線を堅持して財政再建を引続き強力に推進し、速やかに財政の対応力を回復することに努めるとして、支出面では経費の徹底した節減合理化によりその規模を厳しく抑制し、質的内容の充実と景気の維持拡大に配慮するとともに収入面でも極力見直しを行ない財源の捕捉に努めることにより財政の健全化に努めることを基本的考え方としております。

引き続きの冷害等厳しい地域社会の現実をふまえ、今後の社会経済情勢の変動に対応し得るよう配慮しながら町民福祉の向上のため重点的に取り上げ、新年度の予算編成を行ないました。

先づ一般会計について説明申し上げます。

総額は二十六億九千八百九十九万四千円となりましたが、前年度当初予算額に対して一億八百五十七万七千円の増加は実質伸び率四・二％とやや低くなっております。しかし継続費設定に伴う建設事業費については優先的にそれぞれ措置しております。

町民体育館 建設に着手

また本年懸案となっておりました町民体育館建設事業は二ヶ年継続事業として初年度分を計上しております。また一面において人件費の抑制、及び日常的一般経費については極力節減を図りながら通常の財政運営のなかで、より効率化に配慮した予算の策定に努めた積りであります。

財源を 重点的に 効率的に

地方公共団体に対しては国と同一の基調により財源の重点的かつ効率的な配分を行ない節度ある財政運営を図るよう要請されております。

しかし現時点では未だ細部にわたる事項については明らかでない面が多いが現段階における見通しや予算編成上留意すべき事柄について詳細に査察を加え、特に景気の回復がおくれ、二年

最善の努力を払い円滑なる資金の運用を図る所存であります。

次に歳出構成では人件費が四億三千六百六十六万四千円となり、歳出全体の十六・二％を占めますが、主に人事院勧告による職員給与の引上げに伴う平年度化に

建設的事業費が 三十三・七％

道路・住宅・施設など

普通建設事業費では、補助事業で五億七千七百八十八万五千円、単独事業で二億八千六百六十六万九千九百九十九円を計上し、投資的経費の総額が九億二千二百三十三万五千円となり、歳出全体に対して三十三・七％の割合を占めております。

次に新年度予算に計上した主要なる事業について説明いたします。

公共事業としては、土木建設関係で町道新設改良事業費一億四千八百二十九万九千九百九十九円、町道整備補助事業二路線九百四十万一千円、歩道新設事業一路線二百四十一万一千円、舗装事業一路線四百五十五万一千円、及び町単独事業一路線二百二十万一千円、排水工事一カ所を予定しております。継続して建設している公営住宅建築事業十戸分については、事業費として六千五百八十三万三千円を計上しておりますが、その中には身体障害者用住宅二戸分も入っております。農林業関係事業では農村総合モデル事業が第五年度になり、二ヶ年継続事業で建設しておりますが、農村環境改善センター建築費が一億五千四百七十二万九千九百九十九円を計上し、五月に完成し、六月からの開設を予定しております。農道整備事業

によるもので、前年度に比べ三・七％伸びております。また物件費及び維持補修費では二億二千三百六十八万三千円と八・三％を占め、その主なるものは公共施設の光熱水費等の維持管理に要する費用であります。扶助費補助費等では六億三千六百四十二万二千円と二二・六％を占め、福祉関係及び広域的施設の義務負担等であります。公債費では三億三千二百四十九万四千円となり長期債の元利償還及び一時借入金の子等十二・四％、そのほか積立金、貸付金、繰出金等で一億五千五百六十六万五千円となっております。



オープン間近い二施設。今年には診療所、体育館を併設。

では継続二路線二千四百六十六万九千九百九十九円を予定し、四億八千五百二十九万九千九百九十九円、県営農道新設事業は一期継続、二期新規の設計委託料及び県負担金として二千四百四十五万九千九百九十九円、また県単土地改良事業では暗渠排水工事二ヶ所二・一六ヘクタール、かんがい排水工事一ヶ所一・五ヘクタールで三百九十九万五千円、県営老朽溜池事業一ヶ所百五十五万五千円を計上しております。

新に指定を受ける予定の農業構造改善事業については、調査及び計画樹立費として七百五十万円、肉用牛生産団地整備事業に千六百四十一万九千九百九十九円、家畜導入事業補助金五百五十頭分及び利子補給金として五百四十五万八千九百九十九円を計上しております。

山村林業構造改善事業は四ヶ年計画です。本年度分は、休養休憩施設の継続分五千二百二十五万七千九百九十九円を計上し、六月から開設され広くその利用を図る積りであります。また林道事業は継続、新規の各一ヶ所三百七十万、作業道五百mの事業費千八百七十五万四千円、集会所一ヶ所二千九百九十九万八千九百九十九円を計上いたしました。

そのほか、新林構実驗事業に

土木災害では河川災害二ヶ所、道路災害二ヶ所の事業費として千三百五十五万四千円を計上しており、国の査定個所の全部について措置いたしました。

そのほかの施策の主なるものについて申し上げます。

企画費関係では、県が北秋田大野台工業団地造成事業費として七億三千万円を新年度予算に計上し全体の八十％の整備が行なわれますが、町としても、鷹巣阿仁広域圏の関係町村と連携を図り、県に対し強力に働きかけ、昨年の三社の進出に引き続き企業の誘致を積極的に推進する積りであります。そのほか大野台農用地開発等の陳情経費として百五十三万五千円を措置しております。また、合川高等学校組合負担金として二億七千八百九十九万九千九百九十九円、広域圏組合、米内沢高等学校振興会、鷹角線期成同盟会等の負担金、補助金として千四百八十八万九千九百九十九円を計上し、地域開発振興の活動を図ります。交通安全対策では、交通指導隊及び交通安全推進員の活動費を中心に二百四十四万九千九百九十九円を措置し、町民の安全思想の啓発と事故防止について交通安全対策協議会の関係団体と連携をとりながら対処してまいります。戸籍住民基本台帳の整備のため、法務局の指導もあり、原戸籍マイクロフィルム作成のための委託費として二百一十一万六千九百九十九円を計上しております。

保健センターを 四月一日 オープン

工業団地造成に 県で 七億三千万円

民生費では、福祉施設の管理運営に伴う必要経費及び委託料補助金、心身障害者並びに老人家庭奉仕事業等について所要額を措置しております。心身障害者居室整備資金及び母子家庭住居整備資金貸付金は合せて三百八十万円、福祉バス更新のための購入費二百九十四万九千九百九十九円、老人医療、福祉医療の給付費として七千八百九十七万五千円を計上しております。児童措置費の保

二期水田再編2年目
振興作目の選定、
定着化に全力

農林業関係では、水田利用再



総合的な発展によって、若者にも魅力のある明るい町づくりをめざす。

(前頁より) 第二期対策の二年目にあたる五十七年度対策は二年続きの冷害実態が考慮され、前年度の転作目標より十八ヘクタールの軽減で二百四ヘクタールの配分となりましたが、これは第二期の期間中の目標と比較すると二十ヘクタールの軽減となりますが、期間中の推進方針に基づき集落での話し合いを基本として、地域毎に集団化及び団地化をすすめる、転作作目の生産指導と振興作物の選定並に定着化を促し、土地条件の整備による農地の汎用化と経営の複合化を推進してゆきますが、中核的農業者、農業研究グループ、農業者後継者の育成を農協及び各農業団体と連携を図りながら、農業指導センターを中心とした今後の方向について対策をすすめてゆく所存であります。これらの所要経費として、地域農政推進対策事業、農用地高度利用促進事業、農業指導センター運営費、特産物対策、農業団体組織活動費の助成等、農業振興費として四千五百五十万五千円、米生産調整費三百四十九万六千円を計上しております。林業については森林総合整備事業の推進費、林業研究グループ育成、良質材化促進事業、林野対策協議会等の補助金、負

東小学校のグラウンド用地取得

担金として百八十九万四千円を計上しました。 商工業関係では商店街開発促進対策費十五万円、中小企業振興子託制度を主体に二千七百四十五万円を計上し、景気の回復を期待し、商工活動の活性化を促進する対策をすすめてゆく積りであります。 土木関係では町道の維持補修に要する経費及び除雪対策に千二百七十七万円、を計上しております。

教育関係では教育研究所の費用として二百二十七万二千円、小学校費では整備工事費百五十五万三千円、教育振興費五百八十八万六千円、中学校費では整備工事費百五十万円、教育振興費六百一十二万二千円を計上しておりますが、その他消耗器材及び一般需用費については経済状況に合わせてそれぞれ増額して措置いたしました。社会教育関係は講座及び学習会の内容について一部整理し、学習活動の総合的予

算の組み方となりましたが、自主的運営と幅広い活動に期待して措置いたしました。 そのほか債務負担行為により市町村土地開発公社資金を利用し、町立合川東小学校運動場の

診療所を移転改築 国保税を今年も減税

次に特別会計について申し上げます。

国民健康保険事業は診療費の推移が昨年より伸び率が鈍化しておりますが、これは医療単価の据置きと乱受診について被保険者の自覚と協力によるものと思われませんが、しかし国保税財政はその年度毎の受診者の動向により大きく増幅することを予測しながら、その運営に支障を来さないよう努力してまいります。 予算編成に当たっては、県との協議が必要であり、その試算による合議によって新年度の国民健康保険税は一世帯当り十二万二千円から二万二千円を減税し、二万円とすることになりました。 予算総額は四億七千六百二十八万八千円となり、前年度と比較し千七百九十二万円の増となりませんが、この内、合川診療所特別会計繰出金の建築費補助金二千八百八十三万八千円が含まれており実質的には千九百一十一万八千円の減額となります。従って内容としては運営費用の歳入として国民健康保険税一億六千四百三十四万四千円、国庫支出金三億二千三百三十五万五千円、繰越金その他九百八十八万九千円、合計四億七千六百二十八万八千円となり、歳出では、総務費二千二百三十三万円、保険給付費四億九千九百三十三万円、新年度新規事業として疾病予防対策のため人間ドックの費用として保健施設に実費の三分の二の助成二十分を措置し、その他の費用も含めて百八十八万円、積立金その他で四千二百九十八万四千円を構成しております。

合川町国民健康保険診療所会計は、診療所移転改築を計画し国庫補助対象事業とするため標

用地一万七千七百八十二平方メートルの取得と、宅地造成用地二千平方メートルを取得することとし、今後計画的に造成整備を図ってゆく積りであります。

題の名称を変更するものであります。保健センターの隣接に併設して建設し、十二月一日から開設する予定であります。 予算総額三億七千三百八十八万円を計上しておりますが、施設運営費では一億四千八百三十八万三千円、建築費では二億二千二百六十五万五千円に区分されます。 まず、施設運営費の収入見込みは入院一日平均十人、外来一日平均九十四人、歯科では一日平均二十八人を予測し、診療収入として一億四千七百四十三万五千円、その他使用料等で九十四万八千円を予定しております。しかし単年度取支の均衡確保は困難な見通しであり、新しい施設に移転後の管理運用の状況を把握し、検討を加え総合的に町民医療に対する要請に応じてゆく積りであります。次に建築費の内容であります。管理棟棟棟の平屋建築面積は九百三十一・五平方メートル、医師住宅一棟八十一・〇平方メートル、車庫、倉庫等で四百四十一・六平方メートルの工事費及び医療用備品等の総事業費を計画しておりますが、充当する財源として国庫補助金二千八百八十三万八千円、長期債一億千六百三十三万円、現敷地八百八十坪の処分代金二千二百万円、それに一般会計からの繰入金五千五百一十七万七千円を予定しております。

簡易水道 普及率 九十三%に

合川町簡易水道施設事業会計では、昨年十二月一日から東地区簡易水道の給水が開始され全町の普及率が九十三・五%までと高まり、当初予算額は一億五千二百九十九万四千円と前年度より三千三百三十四万四千円増となりました。 本来簡易水道事業は水道使用料を原資として公営企業事業に準じて経営管理する建前となっておりますが、現状の見通しから一般会計より五千四百二十一万六千円の繰入れを求め、今後の施設整備改善と相まって相当の経営努力が必要とされ加入率の増進と適正料金の算定について検討を加え経営の健全化の方向を定めなければならぬと思っております。

選択の時代 大切なものを選び

次に昭和五十六年度の補正予算の概要について申し上げます。 一般会計では既定予算額二十九億九千八百五十六万五千円に対し、二千四百四十七万七千円の減額となり総額で二十九億七千七百四十一万八千円となりました。これは主に災害復旧費の繰越しと農業費の農村総合整備モデル事業の継続分の翌年度繰越しによるものであります。増額されている主たるものとして、交通指導車の更新のため百五十三万六千円、地方バス路線維持費補助金五百一十万円、保健センター備品購入費五百万円、森吉町外四ヶ町村病院組合施設整備費負担金二百万円、農業振興対策の冷害対策費及び転作対策費等に五百六十五万五千円、予備費に千五百万円追加しております。

これらに対する財源として、地方交付税の増額と事業費の変更に伴う対応額の補正により充当されております。特別会計では合川町国民健康保険会計では七十九万九千円を追加し総額四億六千六百八十一万九千円、合川町立合川診療所会計では二百六十三万七千円の減額となり、総額が一億四千五百五十五万五千円、合川町簡易水道施設事業では三億三千二百二十四万二千円、合川町簡易水道施設建設事業では百三十三万三千円の減額となり総額五億六千二百六十九万九千円とそれぞれ補正しております。

以上昭和五十七年度予算及び昭和五十六年度補正予算の概要について申し上げます。 国の財政再建、行政改革は直接間接に地方団体に波及し、昭和五十七年度は公共事業の伸び率の据え置きと地方財政計画における財源対策の廃止又は充当率の大幅引下げなど、事実上地方への公共投資の抑制策がとられ、特に農林関係に対する国の起債の対応策が厳しく、この政策が継続前提となり、五十八年度以降の町村財政は景気の底底による地方交付税の伸び率の低下等も予測される時、その体質は昭和三十年代当時と逆もどりの感さあるわけであり、まさに選択の時代となったわけであり、家庭生活と同じく、出づるを制して何が選ばれた支出となるかを慎重に配慮しなければならぬ時代となります。

用地開発基本調査が行なわれることに決定されましたが、別にまた大野台総合開発調査を県が大野台を多面的開発のため、鷹巣阿仁部広域圏組合と共同でコンサル調査を行なうこととなりました。 国営による農用地開発は大野台にとどまらず、水利系統や土地の属人主義としても対象とされ、合川、森吉、鷹巣の三町の全体のなかで計画が具体化されるものと思われ、地域農業関係者等の先進地研修などをとおして計画と施策に対応することになると思われます。 町が指定を受けようとする新農業構造改善事業との調整をどのようにするか、今後の調査の進捗状況をみて有利にすすめてゆく積りであります。 阿仁川ダムの建設計画との関連のなかで、水利計画は昭和七十年代には広域上水道として地域に還元されなければならないと思っております。 町が指定を受けようとする積りであります。

県立農業大学の活用は、農業技術の高度化や専門化がすすみ、農業経営の在り方、複合化農業の実践的教育の場として積極的に多くの機会をもって利用するよう指導してゆく積りであります。

阿仁合線廃止問題については、去る一月二十九日第一回角館線特定地方交通線対策協議会が秋田市において開かれましたが、角館線阿仁合線の開通を前提とした鷹角線として取り組み、阿仁合線沿線町村も構成会員となり、申入れ事項が尊重されつつ協議会が運営されることを条件に参加することになりました。 申入れ事項としては、単に路線の廃止のみを前提とすることなく、地方交通線の地域振興に果たしてきた役割の評価及び今後の必要性、積雪寒冷地域における交通手段の構成等、地域交通の在り方につき幅広い協議を行なうこと等五項目にわたっております。 今後県と市町村がさらに足並みをそろえ、地域交通の確保に全力を尽くす所存であります。

バイパス 促進に全力

なおそのほか国庫の関係について申し上げますが、県道上下杉バイパスの継続促進並に鎌沢バイパスの着工、小阿仁川改修工事の促進、県営による西部基幹農道一期地区の促進と二期地区の新規採択、河川及び土木災害復旧事業等を積極的に働きかけ、公共事業の導入を図ってゆく積りであります。 新年度に新規に国営事業として大野台農

東北三県の滞留施設として六十年頃までに是非期待にこたえたいとの回答を得ております。 又、合川営林署の廃止或は統合問題については、林野対策協議会等で情報交換しながら、林野庁並びに営林局に対し継続的に反対陳情を行ない絶対に阻止しななければならないと思っております。 いま町民生活を分析すると、工場誘致等により人口は安定の方向にあり、経済的には農工一体による町民所得の向上が確保されつつあります。 日常生活は文化芸術活動、読書、スポーツ、レクリエーションへの指向が強く、教育、文化、保健福祉の町づくり体系が徐々に確立されつつあります。 役場は事務業務が多岐複雑化していきなかつて町民参加の町政をすすめるため多面的に町民に委託、委嘱、嘱託によるもの、コンピュータへの委託等、新規の職員定数の増加にならないよう抑制してまいります。 また、町の財政投資は中期的展望に立つて均整のとれた構造の確保に努めるが公共の事業については、町民の事業を積極的に導入してまいります。 また、交通体系の整備を図り大野台を東北自動車道と秋田市を結ぶ中継基地として位置づける運動を重ね、関係機関と折衝し実現を図る所存であります。

最後に新年度予算の執行に当たっては職員を十分に発揮し、責任ある執務体制のもとに行政効率を高め、公正なる常識と自己啓発により町職員として自覚をうながしてゆく積りであります。

行政効率を高め 町民の特段のご指導とご鞭撻を賜り、私の施政方針といたします。 よろしくご審議の上ご決定下さるようお願い申し上げます。

最後に新年度予算の概要について申し上げます。

身近な声を卒直に

町政モニターと懇談会

町では、町民のくらしの生の声を行政に反映させるため、百名の町政モニターを委嘱しています。二月十一日、モニターの皆さんと町長はじめ各課長との懇談会が開かれました。

あいさつの中で町長は「低成長下では、生活の見直しの徹底を」と呼びかけながら、町づくりに明るい展望を語りました。モニターの皆さんからの提言の中からお知らせします。

- 駅前李岱間に通学路を設置してほしい——用地の協力がえられれば設置する。
- 部落案内標式の破損が目立つので整備が必要だ——雪どけを待って調査する。
- 停留所付近の除雪に町で協力してほしい。——利用者が自

主的に行うべきだ。

- 町議会議員選挙で選挙公報を発行すべきだ。——日程的にできないかと思うが検討されている。
- ラジオ体操を町民体操として普及させてほしい。——広報無線の音は騒音との苦情もあり、話し合いを深めたい。
- 大野台開発は土地利用の計画をたててすすめるべきだ。
- 都市計画をたて計

町政モニター みんなの意見



それぞれの提言に、具体的に答弁。熱心な話し合いが続く。

画的に開発し、土地が投機の対象にならないようにする。下小阿仁地区の道路整備を急いでほしい。——五十七年度調査開始を要望しており、全面完成は早くとも九年後になる。

○ 生活排水の処理対策を急ぐべきだ。——三木田地区以外に計画はない。排水路の整備はすすめている。

十年後の合川 入選作文

東洋精箔や扶桑精工などの企業の誘いが決まったのは去年のことです。このペースでいくと、あと数社の企業の誘いが十年後には決まり、建てられていくかも知れない。こんな田舎でも年がたつにつれて新しい工場が建てられていくと、町そのものが変わっていくように感じられます。これからは、田舎の方の工業が発達して、人口も増えていく

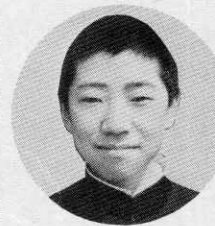
残したい大切な文化 発展。開発の進む町 合川

合川中学校二年山岡新さん

と想います。合川町に工場ができる、工業関係の高校を卒業すれば、そのまま就職できるようなります。合川にそのような高校または合川高校に機械科などができるといいと思います。工場ができるにつれて、団地などもできるから、若い人も働きやすくなるし、人口も増えるから、駅前を中心に商店街などができて、今よりはにぎやかになると思います。ただ、阿仁合線が廃止になると、交通が少

し不便になると思います。できれば廃止になってほしくないのですが、六十年程度までに廃止される路線の中に阿仁合線が入っていたのは、非常に残念です。交通も発達して、道路が狭くなるような感じも

ものなので、たとえあまり使われなくなっても、言葉だけは後まで残ってほしい。でも十年後だから、そんなに変わらないと思います。少しづつでも工場が建てられて、工業も発達することは



(故)長男 鉄之助

良いのですが、それと共に失なわれつつある自然があるというのを忘れてはならないと思います。自然を保護しながら、その上で建設するというのが、不可能に近いことかもしれません。例えば、一人

の少年が工業関係の高校などを出て、就職しようと思ったとき、こんな田舎でも働く所がないと、どうしても田舎を離れてしまおうと、働く場所が必要となります。だから自然開発をするのはやむをえないかも知れません。これがこれからの合川町の課題となるかも知れません。

将来、まず十年後までにはあまり変わらなくても、今よりはいろいろな面で発達していくかと思う。年がたつにつれて、郷土芸能など失なわれていくかのように、保存していくのや、合川町を今よりもっと発展させていくのがぼく達の義務みたいなものだと思います。

今月のことば

背すじを伸ばし姿勢を正しくしてください。自信をもって進んでください。それだけの力が君たちにはあります。(三月十五日合川中学校卒業生へ) 中学校長鈴木運先生

合川球場 申込受付中

使用開始 四月二十日から
料金(広域内一般)一時間 照明八千円 グラウンド一千三百円

役場内の忘れもの

ネットカーフ、ぼうし、シヨール、手袋(二) 役場総務課窓口でお預りしていますので、心あたりの方はお知らせください。

最低賃金改正されました

県内の事業所及び労働者に適用される最低賃金が次のように改正されました。詳しい内容、不明の点は、秋田労働基準局賃金課へ(電〇一八八〇六六八一)

最低賃金の件名	最低賃金額
秋田県最低賃金	1日 2,710円 (1時間 339円)
食料品製造業	1日 3,019円 (1時間 378円)
繊維産業	1日 2,893円 (1時間 362円)
木材、木製品、家具、装飾品製造業	1日 3,151円 (1時間 394円)
出版、印刷業	1日 3,028円 (1時間 379円)
同 関連産業	1日 3,187円 (1時間 399円)
機械、金属製品等製造業及び自動車整備業	1日 3,173円 (1時間 397円)
卸売業 小売業	1日 2,976円 (1時間 372円)
卸売業 小売業	1日 2,976円 (1時間 372円)
全国金属鉱業等	1日 5,000円 (坑内労働者)



篤志家から 百万円の寄付

北小学校ではこのほど、篤志家から百万円の寄付を受け、千冊近い図書を購入しました。この篤志家は以前に七年間にわたって北小学校に奉職された町内在住のかたで、「地の塩親子読書運動に共鳴して」と善意

北秋電気で 点検奉仕

北秋電気工事有限公司(代表 杉淵繁さん)増沢)では、このほど一人暮らしのお年寄り世帯を訪問し、電気の点検奉仕を行いました。差し込みなど日常的な器具や配線などの目に見えるところまで点検。危険な部品の交換も無料奉仕。各世帯とも、ろう電事故の不安がなくなり、たいへん感謝されています。

慶弔だより

2月届

善意のご寄付

(敬称略)

- (香典返しにかえて) 佐藤修助 東根田(故父一蔵) 金田直人 羽根山(故父富三) 土濃塚悦治郎 芹沢(故父周吉) 桜井文雄 下杉(故父文之助) 鈴木東治郎 福田
- 後藤佳成 健一 二男 下杉 木村達代 義久 長女 下杉 ●おくやみ申し上げます。 鈴木鉄之助 42 東治郎長男 福田 佐藤一蔵 66 本人 東根田 三浦キエ 74 幹夫母 三木田 中村栄子 55 松雄母 木戸石 金田富三 48 本人 羽根山 土濃塚周吉 82 本人 桜井文之助 75 本人 下杉 福岡四郎 43 本人 三井 桜庭ナツ 86 勝男祖母 川井

町のこよみ

(行事予定)



- 31日 4日 月 雪田地区移動町民室
- 30日 3日 月 美栄地区移動町民室
- 29日 2日 月 川井地区移動町民室
- 28日 1日 月 下杉地区移動町民室
- 27日 31日 月 増沢地区移動町民室
- 26日 30日 月 上杉地区移動町民室
- 25日 29日 月 町制施行記念日
- 24日 28日 月 大内沢地区移動町民室
- 23日 27日 月 梅栄地区移動町民室
- 22日 26日 月 道城地区移動町民室
- 21日 25日 月 新田地区移動町民室
- 20日 24日 月 羽根山地区移動町民室
- 19日 23日 月 東根田地区移動町民室
- 18日 22日 月 春分の日・マトビ
- 17日 21日 月 杉山田地区移動町民室

募集 野外音楽祭 出演者

- 5日 桃栄地区移動町民室 小中学校入学式
- 6日 木戸石地区移動町民室 金沢地区移動町民室
- 7日 三木田摩当移動町民室 福田地区移動町民室
- 8日 西根田地区移動町民室 羽立地区移動町民室
- 9日 駅前地区移動町民室 李岱明田地区移動町民室

ご利用ください 中小企業融資

秋田県中小企業振興公社では昭和五十七年度の設備貸与機械貸与、中小企業設備近代化資金の融資の受付を行っています。くわしくは、合川町商工会におたずねください。

町の還暦祝の お知らせ

町では四月上旬に、合川町還暦祝賀会を予定しています。今年の還暦対象者は大正十一年四月二日から大正十一年四月一日までに生まれたかたです。対象者にはそれぞれ案内を郵送しますが、案内もれなどが



利用者でにぎわう北小学校図書館篤志文庫